

仙台西多賀病院 地域医療連携室だより

vol.52

宇宙の広がりを感じよう！

～情報通信技術による社会見学@国立天文台～

7月3日、当院大講堂にて「遠隔社会見学」が行われ、患者さんと一緒に国立天文台の三鷹キャンパスへ行ってきました。この企画は株式会社沖ワークウェルよりご提案いただき、実現したものです。株式会社沖ワークウェルは障害者の雇用に際し特別な配慮をしている特例子会社として厚生労働省の認可を受けています。勤務する障害者のほとんどが会社ではなく在宅で仕事をしており、独自のコミュニケーションシステムを利用して、仕事の振り分けやミーティング、業務連絡等を行っています。今回はそのコミュニケーションシステムを用いて、国立天文台の三鷹キャンパスと、当院の他に、秋田、埼玉、東京の医療機関や支援学校を中継でつなぎました。それぞれが離れた場所にいながら、一緒に国立天文台の社会見学に参加しているような感覚であることから、「遠隔社会見学」と表現しています。

当院からは重症心身障害児者病棟や筋ジストロフィー病棟から約30名の長期療養中の患者さんが参加しました。前半は国立天文台・天文情報センターの臼田・佐藤功美子先生から「宇宙の広がりを感じよう」というテーマで講義をいただき、宇宙にある多様な天体の説明、月と地球の大きさや距離の話などを伺いました。後半は4次元デジタル宇宙ビューワー Mitakaの映像が映し出され、地球を飛び出し、天の川銀河までの宇宙旅行を楽しみました。質問の時間には各施設から「土星に輪があるのはなぜ？」「宇宙に星は何個ある？」「ブラックホールに落ちたらどうなる？」「宇宙で一番不思議なことは何？」などのユニークな質問がたくさん出て、一つ一つ丁寧にご回答をいただきました。

ICT技術の発展により、重度の障害や病気を抱えていても、病院で長期療養していても、当たり前のように仕事をしたり、外出をしたり、旅行をしたり…そういうことが期待できるようになりました。今後も新しい情報、技術を取り入れながら、よりよいサービス、支援を心がけてまいります。

(医療福祉相談室 医療社会事業専門員 榊原 愛)



～仙台西多賀病院の理念～ 「良い医療を安全に、心をこめて」

仙台西多賀病院認知症疾患医療センター主催『認知症研修会』を開催

7月18日 地域の医療従事者の方々の要望により認知症研修会を当院にて開催いたしました。

当日は、太白区保健福祉センターや地域の医療機関・施設等から90名、院内から24名、計114名の方々にご参加いただき、認知症に関する関心の高さが伺えました。

冒頭、当院の大泉英樹認知症疾患医療センター長から仙台西多賀病院認知症疾患医療センターの紹介、認知症に関する知識や他の精神科病院との連携の重要性についての説明に続き、当院脳神経内科医長の馬場徹先生が「レビー小体型認知症ってどんな病気？」をテーマに、原因疾患の中で治療できるものを見逃さないためにどのように診断を行っているのか、運動面・認知面・検査方法の多方面から動画や図を用いての講演がありました。

その後、仙台富沢病院の長谷川優医療相談室長より「認知症患者に対する精神科医療の役割」というテーマで、患者様々が、好んだ映像を観ながらお話を楽しむことで情動を刺激するIOT療法（Internet Of Thingsの略）やアロマコーヒー療法など、実際に仙台富沢病院で行われている認知症療法を紹介され、精神科医療が患者様一人一人の状態に合わせたその方らしい生き方を提案・援助する役割を担っているということをお話していただきました。

講演会の座長をつとめた当院武田篤院長からも、「当院では最新のSPECT/CTが設置されているため精度の高い検査で鑑別診断を行い、仙台富沢病院では認知症に対してさまざまな治療のアプローチを行っている。今後とも、仙台富沢病院と当院がこれまで以上に互いの得意なところを活かし合っていけるように連携を密にとっていきたい。」とのお話がありました。

参加して下さった方々は、熱心に耳を傾けメモを取ったり質問をされたりと、今回の研修会がとても有意義なものであったことがその様子から感じられました。

秋には、市民公開講座「認知症講演会&認知症映画上映会」も開催予定ですので、それに向け今後も当院認知症疾患医療センターのメンバー一同で準備に励んでいきたいです。

お忙しい中、参加していただいた方々にもこの場を借りて感謝申し上げます。

（経営企画室 経営企画係 阿部 陽和）



武田篤院長



馬場徹脳神経内科医長



仙台富沢病院 長谷川優医療相談室長

石のアクセサリーを 作ってリフレッシュ!!!

7月4日、新人リフレッシュ&リフレクション研修②が行われました。新人だけの集合研修は5月以来でしたが、緊張感はなくグループ内で楽しく談笑する様子が見られました。

午前中はこれまでの自己の振り返りを中心にグループワークを行い、昼食を挟んで午後から仙台市縄文の森広場へ行きました。当日は朝からやや強い雨が降り、午後の天気が心配されましたが、日頃の行いが良い?/からでしょうか、出発時には薄日がさす曇り空となりました。

縄文の森広場では、石のアクセサリー作りを体験しました。施設の担当者から説明を受けながら、やわらかく加工しやすい滑石を硬い石と紙やすりを使って、自分の好きな形に削っていきました。初めは削ることだけに集中している様子が見られましたが、徐々に会話が増え、楽しみながら作業を進めていきました。

一番人気は勾玉型で、次に多かったのはしずく型でした。仕上げ用の紙やすりで滑らかさと艶が出てくると「いい感じ」、「きれいに出来た」などの声が聞かれ、お互いの作品を見せ合い笑顔が見られていました。

参加した新人からは「一緒にもの作りをすることで会話も弾んで楽しかった」、「仕事、プライベートなことなど様々な話ができた」などの感想が聞かれました。いつも勤務している病院を離れ、同期と近況を語り、楽しみながらひとつの作品を作ったことでリフレッシュできたようです。研修を通して他病棟の同期との繋がりを持ち、支え合いながら今後の仕事に取り組んでいけたらと思います。

(看護部 教育担当師長 渡辺 玲)



第43回 上野山市民まつりに参加して

5月12日上野山コミュニティーセンターにおいて開催されました「上野山市民まつり」に参加してきました。「手作り作品の出店」「和太鼓演奏」「絵画・彫刻・吊るし雛の作品展示」等があり活気のある市民まつりでした。

当院のブースでは「血圧・体脂肪・骨ウェーブの測定」「栄養相談」「折り紙教室」を実施、70名近い方が来訪して下さいました。「毎年、楽しみにしています」と声をかけていただきとても嬉しく思いました。

これからも地域に根ざした病院を目指し、住民のみなさまの健康維持の一助になれるように努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

(地域医療連携室 地域医療連携係長 大森 眞由美)



『ベスト口演賞』を頂きました！

私たち療養介助員は、筋神経疾患患者の日常生活を援助する上で、多職種と連携し専門職としての意識を持ち患者と関わっています。先日開催された北海道・東北筋強直性ジストロフィー臨床研究会において、「質の良い睡眠をとるための取り組み」を発表する機会を頂きました。患者の状態に合わせたケアを提供する為には、患者の訴えを正確に捉え多職種と情報共有・連携をすることの大切さを学ぶことができた取り組みでした。そして、「ベスト口演賞」を受賞することができました。これからも多職種と連携し、専門職としての視点を忘れずに日々の介護実践に励んでいきたいと思ひます。

(南3F-1病棟

療養介助専門員 飯沼 恵)



第21回筋ジストロフィー病棟合同医療・生活懇談会を開催しました

7月4日に第21回筋ジストロフィー病棟合同医療・生活懇談会を開催しました。20年もの歴史を重ねてきたこの懇談会も、平成から令和へ年号が変わり、新しい年号で新たな一歩を踏み出しました。今年は、入院患者ご家族、在宅患者、障害福祉事業所など合計97名にご参加いただき、盛会に開催することができました。

講演会では、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻機能診断科学講座臨床神経生理学教授 高橋正紀先生をお招きして、「筋強直性ジストロフィーの最新の治療」についてお話いただきました。難解な内容を分かりやすくお話いただき、最新の医学的治療を参加者全員で共有することができました。講演後は、複数名の参加者から、予定した時間には収まらないほど、熱気のある質疑が繰り広げられました。筋ジストロフィーの治療に関する関心の高さの表れだと思っています。また、高橋先生には最後の1人までご丁寧にお答えしていただきました。本当に感謝申し上げます。筋ジストロフィー病棟合同医療・生活懇談会は来年も開催予定です。筋ジストロフィー患者さんの元気と健康に少しでも貢献できる内容の講演会を今後とも、企画して参りたいと思います。

(療育指導室 療育指導室長 小関 敦)



バルコニー交流会を実施して

5月と6月にバルコニー交流会を開催しました。

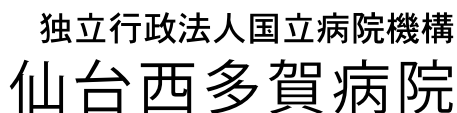
青空の下でゆっくりとコーヒーを飲みながらゲームをしたり他病棟の患者さんと交流を楽しみました。ポッチャゲームでは病棟対抗で行い、点数によって景品がもらえるということで、患者さんたちの一喜一憂する様子が見られました。また、以前一緒だった病棟の仲間、同級生、お世話になったスタッフとの再会など普段なかなか会えない人とゆっくりと交流も楽しんでいました。心配された天気にも恵まれて新緑の景色を眺めながらゆっくりと過ごす事ができました。

(療育指導室 保育士 佐々木 祥子)



外来担当表

※1 脊柱側弯症の新患者様のご紹介は、側弯症外来日（金曜）にお願い致します。
 ※2 内科火曜日の循環器専門外来及び金曜日の遺伝カウンセリング外来は完全予約制です。
 ※3 脳神経外科は主にパーキンソン病に関連した診療を行っています。
 ※4 もの忘れ外来は診療情報提供書が必須で完全予約制です。
 ※5 歯科外来は主に入院患者の診療を行っています。



※東北道を利用して来院される場合は仙台南ICをご利用下さい。
(東北道～山田ICまた、山田IC～東北道はご利用できません。)

